記者発表資料

平成３０年　８月　２８日
東　北　地　方　整　備　局
岩木川ダム統合管理事務所

岩木川改修100周年・白神山地世界自然遺産登録25周年記念

「津軽ダム景観講演会」を開催します！！

岩木川ダム統合管理事務所では、岩木川改修１００周年・白神山地世界自然遺産登録２５周年を記念して「津軽ダム景観講演会」を開催します。

津軽ダム景観検討委員会の委員長であった、篠原　修　東京大学名誉教授に、グッドデザイン賞を受賞した津軽ダムについて、講演いただくものです。

是非、皆様のご来場をお待ちしております。

■ 日　　時
平成３０年９月１５日（土）

■ 時　　間
午前　９：４０～午前　１１：００　（受付　９：００開始）

■ 実施場所
西目屋村中央公民館

■ 開催内容
津軽ダム景観講演会
※この講演会はCPD並びにCPDS認定講習になります。

■ その他
時間、場所等の詳しい情報は別添のチラシを参照ください。

平成３０年９月７日（金）までに岩木川ダム統合管理事務所宛に、氏名、連絡先、電話番号、会社名等を記入し、下記メールアドレス又は、FAX番号にお申し込みください。
メール：tugaru@thr.mlit.go.jp（岩木川ダム統合管理事務所ＨＰ共有アドレス）
ＦＡＸ：０１７２－８５－３０６１

●岩木川ダム統合管理事務所HP　http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/

≪※発表記者会等：弘前記者会、専門記者会≫

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　岩木川ダム統合管理事務所
0172-85-3035
（浅瀬石川ダム、津軽ダム）
副所長　三浦（みうら）　義昭（よしあき）　（内線204）
調査課長　中田（なかだ）　純人（すみと）　（内線351）

GOOD DESIGN AWARD 2017年度受賞

岩木川改修１００周年・白神山地世界自然遺産登録25周年記念「津軽白神湖まつり」

津軽ダム景観講演会「ダムをデザインしてきてわかった事」

開催趣旨：　津軽ダム建設にあたっては、世界自然遺産白神山地を有する西目屋村にふさわしい自然環境と調和するデザインが必要であることから、学識経験者、利水関係者、ダム事業者、ダム建設工事業者、設計担当業者などによる**「津軽ダム景観検討委員会」を設立**し、津軽ダム堤体や付属設備について模型や図面により意見交換を行い、ダム建設に反映させました。

その成果として、グッドデザイン賞２０１７において直轄ダムとして全国初となる**グッドデザイン賞を受賞**しました。

講演会は、グッドデザイン賞受賞を記念し、「津軽ダム景観検討委員会」の委員長であった **篠原 修 東京大学名誉教授** に講演していただくものです。

開催日時：平成３０年９月１５日（土）　９：４０～１１：００（受付９：００開始）

講演会場：西目屋村中央公民館
（〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村田代字稲元143　TEL 0172-85-2858）

講 演 者：篠原　修　東京大学名誉教授
政策研究大学院大学名誉教授
NPO法人GSデザイン会議 代表
エンジニアアーキテクト協会会長



定　員　：１００名

聴 講 料：無　料

講演次第：
9:00　受付開始
9:40　開会
9:45　西目屋村長あいさつ
9:50　来賓あいさつ
9:55　開催趣旨説明（岩木川ダム統合管理事務所　栗田所長）
10:00　講演開始
11:00　講演終了・閉会

※　この講演会はＣＰＤ並びにＣＰＤＳ認定講習です。

申し込み：平成３０年９月７日（金）までに岩木川ダム統合管理事務所宛に、氏名、連絡先電話番号、会社名等を記入し、下記メールアドレス又はＦＡＸ番号にお申し込み下さい。

メール：tugaru@thr.mlit.go.jp（岩木川ダム統合管理事務所HP共有アドレス）

ＦＡＸ：０１７２－８５－３０６１

津軽ダム
2017年グッドデザイン賞を受賞
直轄のダムとしては“全国初”



『グッドデザイン賞とは』
○1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組み（(公財)日本デザイン振興会主催）
○デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加
○受賞のシンボルである「Gマーク」は、よいデザインを示すシンボルマークとして広く親しまれている

津軽ダムがグッドデザイン賞（平成29年10月4日）
～直轄のダムとしては全国初～

GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞



☆津軽ダムの概要

○津軽ダムは、世界自然遺産の白神山地の麓に建設され、岩 木川流域住民を幾度となく苦しめてきた洪水被害の軽減や流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給、水道・工業用水の供給、発電を目的とする多目的ダムである。

・ダム型式：重力式コンクリートダム
・ダム諸元：堤高：97.2m ・ 堤頂長：342.0m
堤体積：75万9千m3
総貯水容量：1億4千90万m3
・事業期間：平成3年度 ～平成28年度

☆デザインの特徴

○世界自然遺産の白神山地の玄関口として、堤体や付属施設について、地域の豊かな自然景観に充分配慮した良好な景観を造っていく必要があると考え、学識者、事業者（発注者、受注者、設計者）からなる津軽ダム景観検討委員会において検討。
○津軽ダムは、白神の自然と人が出会う新しい風景づくりを基 本理念に、ダム本体のみならず、ダム湖周辺の関連施設に至るまで一貫したデザインとすることで、ダム施設群と自然景観とが調和する、白神山地の玄関口にふさわしい新たな景観創出を図った。

☆今後の取り組み

○東北地方整備局では初となる今回の受賞を契機に、周辺地域活性化のため地元自治体等と連携を図り、ダムツーリズム推進に努める。

☆受賞対象

受賞対象名：ダム　津軽ダム
受賞企業：
国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所
（旧 津軽ダム工事事務所）（青森県）
株式会社東京建設コンサルタント（東京都）
株式会社イー・エー・ユー（東京都）
プロデューサー：国土交通省東北地方整備局 津軽ダム工事事務所
津軽ダム景観検討委員会
ディレクター：篠原修
デザイナー：株式会社東京建設コンサルタント 井上 大介
株式会社イー・エー・ユー 西山健一、田中毅



寒沢展望台から
ダム堤体、管理所を望む



下流河川からダム
堤体を望む